

広陵町の風景



百済寺

はじめに

広陵町には人々の心を癒す素晴らしい風景がたくさんあります。

広陵町社会教育委員会議は、これまでに「広陵町の民話」、「ふるさとの言葉(広陵町の方言)」及び「広陵町の祭り」の冊子を作成し、広陵町の魅力を皆さんにお伝えしてきました。

この度、広陵町文化協会写真部の皆さんから、広陵町内で撮影した写真の提供を受けると共に、社会教育委員が各地に出向き撮影した写真を用い、また、表紙の絵は白日会に所属されている町内の方に作成をしていただき、多くの皆さんの協力を得て「広陵町の風景」の冊子を作成いたしました。

掲載している各地に出向き、広陵町の素晴らしい風景をご堪能ください。

令和7年2月

広陵町社会教育委員会議



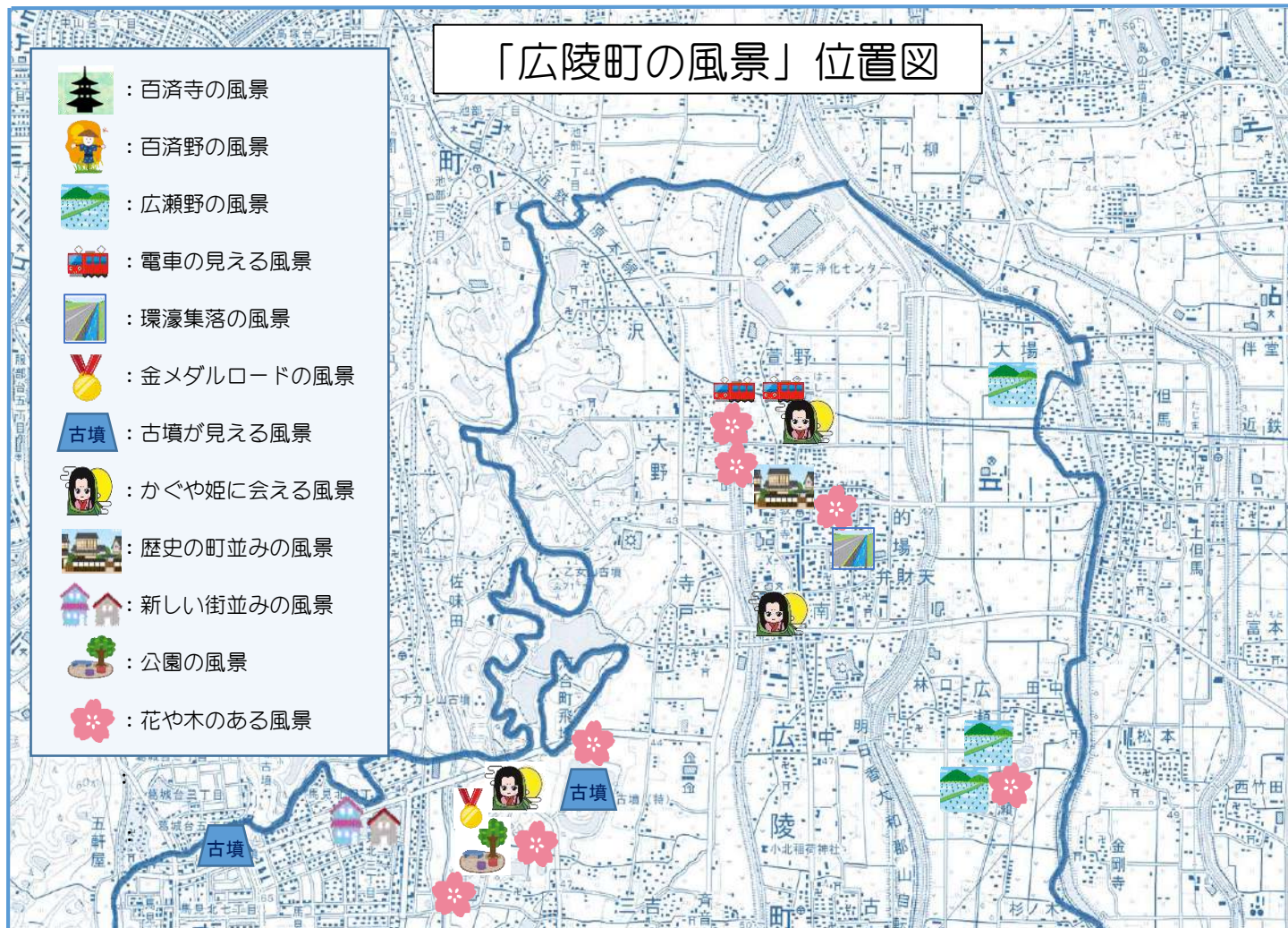
「広陵町の風景」目次

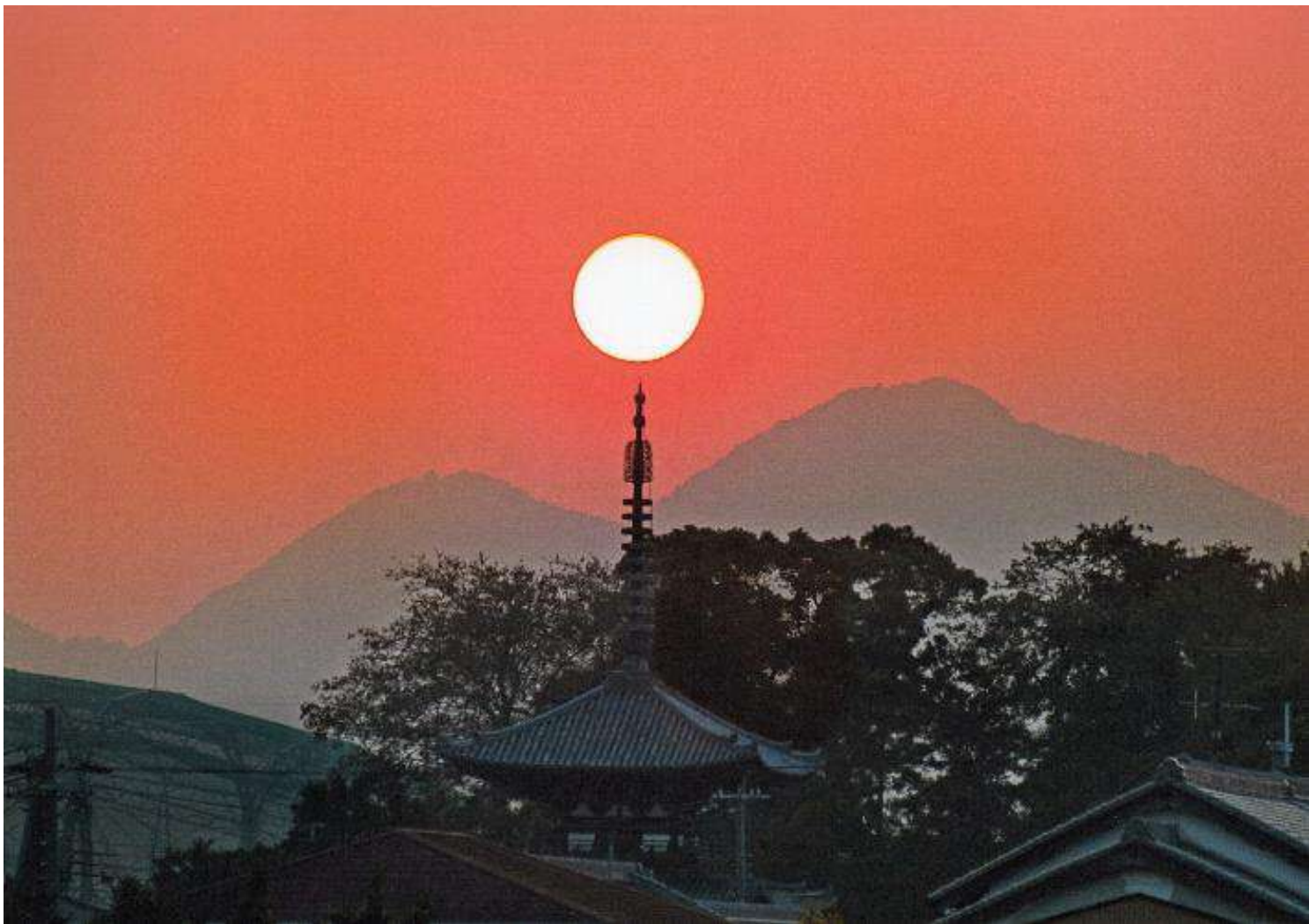
	「広陵町の風景」位置図	・・・	1
	：百済寺の風景	・・・	3
	：百済野の風景	・・・	6
	：広瀬野の風景	・・・	7
	：電車の見える風景	・・・	8
	：環濠集落の風景	・・・	9
	：金メダルロードの風景	・・・	12
	：古墳が見える風景	・・・	13
	：かぐや姫に会える風景	・・・	15
	：歴史の町並みの風景	・・・	17
	：新しい街並みの風景	・・・	18
	：公園の風景	・・・	19
	：花や木のある風景	・・・	21



「広陵町の風景」位置図

-  : 百済寺の風景
-  : 百済野の風景
-  : 広瀬野の風景
-  : 電車の見える風景
-  : 環濠集落の風景
-  : 金メダルロードの風景
-  : 古墳 : 古墳が見える風景
-  : かぐや姫に会える風景
-  : 歴史の町並みの風景
-  : 新しい街並みの風景
-  : 公園の風景
-  : 花や木のある風景







春の百済寺



霧の塔



百済寺の風景

のどかな田園風景が広がる広陵町の東南部地域に百済寺があります。国の重要文化財に指定されている鎌倉時代に建立されたとされる三重塔や、弘法大師が掘ったと伝承される梵字池があります。周辺の四季のうつろいの中で素晴らしい景観を醸し出しています。



雪の百済寺



雪の百済野



百済野黎明



百済寺の梵字池



早苗田



百済野の風景

広陵町の東南部の曾我川と葛城川に挟まれた地域は百済野と呼ばれています。百済野から田園越しに見る大和青垣に昇る朝日、二上山に沈む夕日の風景は絶景です。



百済 野火



百済野夕景



東部農村広場



広瀬野の風景

馬見丘陵東麓では大和平野の南北から川が集まって大和川に注いでいます。この広陵町及び河合町一帯は、かつて広瀬郡に属していました。

「広陵町」の町名は、この広瀬郡の「広」と、馬見丘陵地帯の「陵」に由来しています。

曾我川と葛城川に挟まれた地域は豊かな田園地帯になっています。



広瀬野夕景



常念寺と桜



電車の見える風景

広陵町の北部には、広瀬野の田園地帯を走る
近鉄田原本線があります。

箸尾駅は町の北の玄関口として、通勤や通学
に多くの人が利用しています。



桜の高田川鉄橋を渡る近鉄電車(箸尾)



箸尾駅の近鉄電車



昭和の箸尾駅



南郷環濠(北)

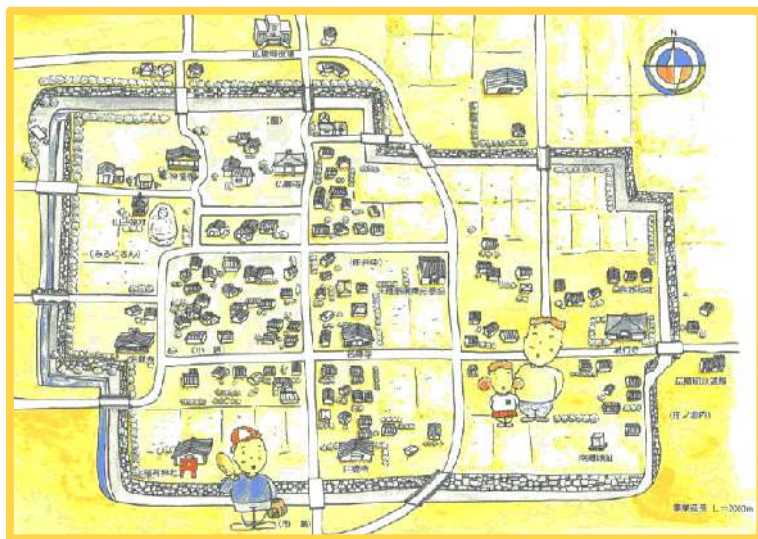


南郷環濠(南)



環濠集落の風景

戦国時代には夜盗・強盗の略奪等から村人を守るために集落の周囲に防御的な機能を持った濠を掘り、自衛している地区がありました。広陵町内には南郷、古寺、箸尾等に残っており、今は農業灌漑用水路等としても利用されています。



南郷環濠集落イラストマップ



南郷環濠(西)



古寺環濠(北)



箸尾環濠(南)



古寺環濠(西)



箸尾環濠(北)



金メダルロードの風景

広陵町出身で五輪柔道で合わせて4個の金メダルを獲得した野村豊和さん、野村忠宏さんの栄誉を称えた高さ3mの金メダルの塔があります。町役場から馬見中4丁目までの道路が、野村忠宏さんが中学時代までランニングしていたことにちなみ、金メダルロードと名付けられています。



金メダルの塔（竹取公園）



金メダルロードモニュメント(役場前)



金メダルロードモニュメント(足相)



金メダルロードモニュメント(中4) 12



巢山古墳



牧野古墳



新木山古墳



新山古墳



三吉石塚古墳

古墳

古墳が見える風景

町の西部に広がる馬見古墳群には250基を超える古墳があります。

巢山(すやま)古墳は国指定特別史跡、牧野(ばくや)古墳は国指定史跡、新木山(にきやま)古墳、新山(しんやま)古墳は陵墓参考地、三吉石塚(みつよししづか)古墳は県指定史跡に指定されています。



ほむら立つ(三吉石塚古墳)



三吉石塚古墳 奈良県「まほろば眺望スポット百選」 14



讃岐神社(三吉)



かぐや姫まつり(竹取公園)



竹取物語の舞台

讃岐神社

さぬきじんじや

祭神

大物忌命・倉稲魂命

猿田彦命・大国魂命



竹取物語に登場する竹取の翁は、讃岐造と書かれており、この神社周辺に住んだとされます。この地域は、江戸時代まで広瀬郡散吉郷と呼ばれていました。登場人物の名前は「古事記」に、開化天皇の孫として大筒木垂根王、その弟として「讃岐垂根王」が、大筒木垂根王の子に「迦具夜比売命」とあります。垂仁天皇の妻に、迦具夜比売命が妻となります。

かぐや姫に求婚する五人の貴公子は実在する人物であると考えられます。物語に登場する石作皇子が丹比真人島、車持皇子は藤原不比等、阿部御連が阿部御主人、大伴御行、石上麻呂足は石上麻呂です。壬申の乱(六七二)で活躍した人たちが、飛鳥宮が藤原宮周辺に住む大臣クラスの貴族が、かぐや姫に求婚するため、昼夜を問わず通った記述から、この周辺に竹取の翁の屋敷があったと言われています。

「讃岐神社の現地説明板」



かぐや姫に会える風景

讃岐神社の周辺は、歴史とロマンが生きる「竹取物語」の舞台であるとして、町内には「かぐや姫」や「かぐやちゃん」のモニュメントや案内板が設置されており、多くの場所でかぐや姫に会うことができます。

毎年、中秋の名月には「かぐや姫まつり」を開催して、いにしえのロマンを偲んでいます。



はしお元気村



広陵町役場



箸尾駅前



竹取公園



足相の町並み



歴史の町並みの風景

広陵町は古くから門前町や城下町、産業の中心地、交通の要衝として栄えており歴史の町並みが多く残されています。重厚な家並みは心を和ませます。



百済の町並み



萱野の町並み



真美ヶ丘の街並み(かつらぎの道)



笠の新しい街並み



真美ヶ丘の街並み(幹線道路)



新しい街並みの風景

町の西部には昭和49年から真美ヶ丘ニュータウンの開発がすすめられ、新たな住宅都市が造られました。広陵町は県下の「住み続けたい街ランキング」で令和6年度には1位となり、また、「街の住みこちランキング」で常に上位にあり、在来地で新しい住宅建設が進んでいます。



広島運動公園（タコさん公園）



広島第1号近隣公園（時計台公園）



竹取公園





西谷公園



横峯公園

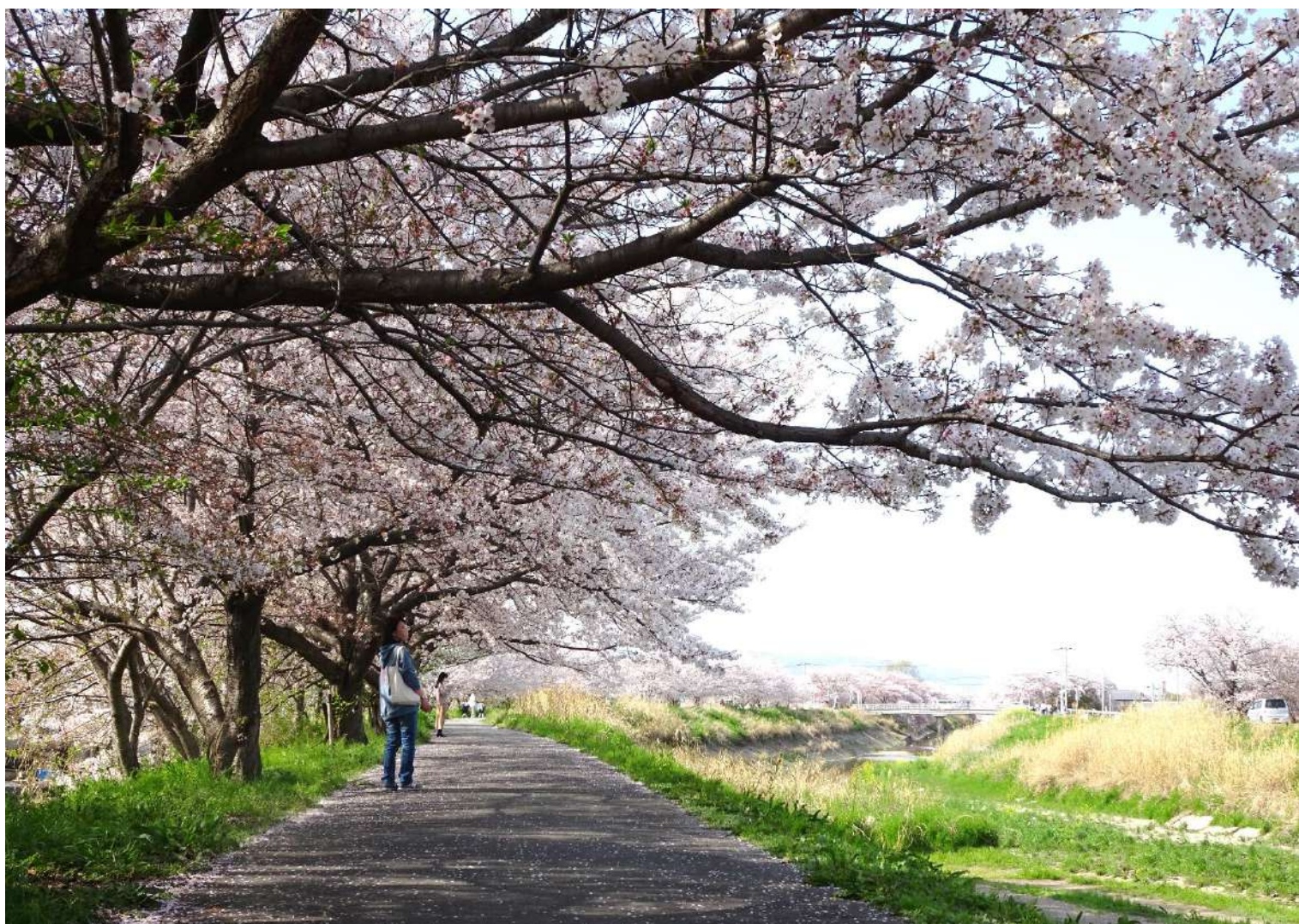


見立山公園



公園の風景

緑豊かな住環境の形成、人々の憩いの場、交流の場の創出、子どもの遊び場の確保、災害時の避難場所の確保などのために、広陵町には多くの公園が整備されています。





花や木のある風景

町内の寺や神社にはイチョウやケヤキ等の巨樹が生育し、スケールの大きい圧倒的な景観を見ることができます。

町の南北を流れる曾我川、葛城川及び高田川の堤防や公園には、多くの桜が植えられ、花見の名所になっています。



桜花爛漫



与楽寺の梵字池と桜



かつらぎの道のこぶし



春まっただなか（箸尾）



新一年生（箸尾）



惜春（竹取公園）



花見 十人十色（竹取公園）



八坂神社のケヤキの巨樹（古寺） 広陵町指定天然記念物



綿の実がなる風景（三吉）



杉玉、春を祝う（箸尾）



新家長福寺の藤の花（三吉）



教行寺のイチョウ



三吉の景観植物植栽地



馬見丘陵公園南エリアの河津桜(寺戸)

絵・写真の提供を頂いた方(敬称略・順不同)

表紙絵

下川多佳子

広陵町文化協会写真部

伊川正佳
石倉多美子
出雲義清
氏本晴視
小林一吉
小西千恵美
田畠勤也
土肥忠實
野村佳代
山村悦子

作成 広陵町社会教育委員会議

〒635-0821

奈良県北葛城郡広陵町大字笠382番地1

広陵町教育委員会 教育振興部 生涯学習課内

令和7年2月

本資料の情報や写真の引用・転載を禁止します

広陵町社会教育委員会議